

(お知らせ)

30. 4. 3  
防 衛 省

CV-22オスプレイの横田飛行場配備について

- 1 4月3日、在日米軍は、米空軍CV-22オスプレイの横田飛行場への配備について発表しました。この発表及び米国政府からの説明によれば、米国政府は、太平洋地域における安全保障上の懸念に対応するため、平成29年に発表したスケジュールを変更し(※)、今年の夏頃に、5機のCV-22を横田飛行場へ配備する予定です。また、この配備に先立ち、今週後半に地域の安全保障の訓練のため、横田飛行場に一時的な立ち寄りを行うとしています。更に、今後数年間で段階的に計10機のCV-22と約450人の人員を横田飛行場へ配備する予定です。
- 2 政府としては、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、高い性能を有するCV-22が我が国に配備されることは、米国のアジア太平洋地域へのコミットメント及び即応態勢整備の観点から、日米同盟の抑止力・対処力を向上させ、日本の防衛及びアジア太平洋地域の安定に資すると考えています。
- 3 また、CV-22の日本国内における飛行運用に際しては、安全面に最大限の考慮を払うとともに、地元を与える影響を最小限にとどめるよう日米で協力していく考えです。

※ CV-22の横田飛行場への配備については、米側は平成27年5月に、平成29年後半より配備するとしておりましたが、平成29年3月に、配備を2020米会計年度(平成31年10月～平成32年9月)に延期する旨公表していました。

## 平成30年4月3日 在日米軍プレスリリース（仮訳）

米空軍CV-22オスプレイが横田飛行場に到着

横田飛行場、日本 — 本日、在日米軍は5機のティルトローター機CV-22オスプレイが今週後半に横田飛行場（東京）へ到着すると発表した。

太平洋軍が管轄する地域へのCV-22の到着は、最近発表された2018米国防戦略に沿った地域の安全保障上の懸念に対応するものである。また、自然災害又は危機に迅速に対応するためのプラットフォームを提供する。これにより、CV-22の到着スケジュールが、以前発表した2020年から変更となった。

CV-22は今後数か月間にわたり地域で訓練を行うために出発する前の短期間、横田に留まる。当該訓練から帰還した後、横田からの運用を継続する。地域での航空機の運用を支援するため、今後数か月間で追加の部隊要員が横田に到着する。今後数年間にわたる段階的な配備計画で計10機が横田に配備される。

CV-22オスプレイは他に類を見ない非常に高度な能力を備えた航空機であり、また運用面でも優れた安全性を持っている。CV-22オスプレイは日本の防衛に対する米国の関与の一環として地域に比類なき特殊作戦能力をもたらす。ヘリコプターの垂直離着陸能力と従来の固定翼機のスピード及び航続距離を合わせ持ったこの革新的な航空機は、特殊作戦部隊に比類なきスピード及び汎用性を与え、戦闘能力及び地域での有事に対する対応能力を向上させる。

CV-22は、イラク、アフガニスタン、韓国、オーストラリア、グアムを始め世界中の様々な地域で運用されている。

CV-22オスプレイに関する更なる情報は、こちらのファクトシートで確認できる。  
<http://www.af.mil/About-Us/Fact-Sheets/Display/Article/104531/cv-22-osprey/>

## CV-22オスプレイの横田飛行場への配備について

平成30年4月3日

外務省・防衛省

### 1 経緯

- 平成27年5月、平成29年後半から横田飛行場に配備する旨、接受国通報。
- 平成29年3月、米空軍の他の運用との兼ね合いなどにより、配備を2020米会計年度(平成31年10月～平成32年9月)に延期する旨、公表。

### 2 配備の概要

#### 【配備スケジュール】

- 太平洋地域における安全保障上の懸念に対応するため、平成29年に公表したスケジュールを変更し、今年の夏頃に、5機のCV-22を横田飛行場へ配備する。
- この配備に先立ち、5機のCV-22が、今週後半に地域の安全保障の訓練に参加するため、横田飛行場に一時的な立ち寄りを行った後、一度本邦を離れる。今年の夏頃に、配備のために横田飛行場に戻る。
- 今後数年間で、段階的に計10機のCV-22と約450人の人員を配備する。

#### 【配備の意義】

- 我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、高い性能を有するCV-22オスプレイが我が国に配備されることは、米国のアジア太平洋地域へのコミットメント及び即応態勢整備の観点から、日米同盟の抑止力・対処力を向上させ、日本の防衛及びアジア太平洋地域の安定に資するものと考えている。

#### 【安全面への配慮】

- CV-22の日本国内における飛行運用に際しては、安全面に最大限の考慮を払うとともに、地元を与える影響を最小限にとどめるよう日米で協力していく考え。

#### (参考)CV-22について

- CV-22は、米空軍仕様のオスプレイ。米海兵隊仕様のMV-22と機体構造及び基本性能(エンジン、飛行システムの基礎)は同一。

※ 従事する任務の違いに伴い、CV-22はMV-22にはない地形追従装置などを装備。



- 各種事態が発生した場合に、米軍の特殊作戦部隊を輸送する任務を担う。

30.4.3  
南関東防衛局

## CV-22オスプレイの横田飛行場への配備に関する情報提供

※下記の予定は今後変わる場合があります。

- 5機のCV-22が、今週後半に地域の安全保障の訓練に参加するため、横田飛行場に一時的な立ち寄りを行った後、一度本邦を離れる。今年の夏頃に、配備のために横田飛行場に戻る。
- CV-22については、本日船舶で横浜ノース・ドックへ到着予定であり、今週後半に横浜ノース・ドックから横田飛行場へ飛行する予定。